【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公表番号】特表2008-528639(P2008-528639A)
【公表日】平成20年7月31日(2008.7.31)
【年通号数】公開・登録公報2008-030
【出願番号】特願2007-553414(P2007-553414)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｈ　15/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7028　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｈ　15/18
Ａ６１Ｋ　31/7028
Ａ６１Ｐ　1/04
Ａ６１Ｐ　3/10
Ａ６１Ｐ　7/02
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ６１Ｐ　9/10
Ａ６１Ｐ　9/14
Ａ６１Ｐ　17/02
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　19/10
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/04
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月2日(2009.2.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項８
【補正方法】変更
【補正の内容】

【請求項８】
インテグリンの抑制によって罹った疾患又は状態を治療する薬剤を製造するための、式Ｉで表わされる化合物又は薬学的に許容し得るその塩の使用。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項９】
前記化合物が式ＩＩで定義される群から選択される、請求項８に記載の使用。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１０】
前記化合物が式ＩＩＩで定義される群から選択される、請求項８に記載の使用。
【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１１】
前記化合物が式ＩＶで定義される群から選択される、請求項８に記載の使用。
【手続補正５】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１２】
前記化合物が式Ｖで定義される群から選択される、請求項８に記載の使用。
【手続補正６】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１３】
前記疾患又は状態が、糖尿病、糖尿病性網膜症、加齢黄斑変性、多発性硬化症、喘息、関節炎、クローン病及び大腸炎、癌、腫瘍転移、腫瘍増殖、血管形成、血管新生、心血管疾患、創傷治癒、血栓症及び骨粗しょう症、並びにそれらに関連する疾患又は状態からなる群から選択される、請求項８から１２のいずれか一項に記載の使用。